
JICA調査プロジェクト活動報告

海外のサステイナブルカカオのためのプラットフォームの状況

2021年12月15日

サステイナブルカカオプラットフォーム会員会合

及川有希子

JICA調査チーム（プラットフォーム分析）

認定NPO法人ACE

ガーナにおける、児童労働フリー・ゾーン（CLFZ）制度構築に向けての取り組み

現在、JICA（国際協力機構）の調査プロジェクトにて、CLFZ制度構築に向けて活動中。

ガーナ共和国 カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査

目的	<ul style="list-style-type: none">CLFZガイドラインの実施、児童労働撤廃の取組を後押しするガーナにおける児童労働撤廃に向けた、将来的な連携可能性を特定する（SDG8.7達成を見据えて）
実施期間	2020年10月～2022年3月
カウンターパート機関	雇用・労働関係省（労働局・児童労働ユニット）
連携機関	児童労働に関する国家委員会（NSCCL）、教育省、ジェンダー・子ども・社会保障省、地方自治・農村開発省など
主な活動	<ul style="list-style-type: none">CLFZガイドラインに基づいたパイロット活動の実施支援文献調査、関係者ヒアリング等による情報収集プラットフォーム関係者との情報共有、意見交換
受注者	認定NPO法人ACE、アイ・シー・ネット株式会社

世界のサステナブルカカオのためのプラットフォーム

国	名称	略称	設立
ドイツ	The German Initiative on Sustainable Cocoa	GISCO	2012年6月
スイス	The Swiss Platform for Sustainable Cocoa	SWISSCO	2018年1月
ベルギー	Beyond Chocolate (The Partnership for a sustainable Belgian chocolate industry)	BISCO	2018年12月
オランダ	The Dutch Initiative on Sustainable Cocoa	DISCO	2020年9月
フランス	French Sustainable Cocoa Initiative	(FRISCO)	2021年10月

欧州4カ国のプラットフォームの概要

	ドイツ	スイス	ベルギー	オランダ
政府の関与	食糧・農業省 経済開発協力省	経済省	協力省 外務省 持続可能開発省	農業・自然・食品省 外務省 企業庁
会員組織数、 業界参加率	77組織 国内チョコレート市場の80%をカバー。	70組織 主要メーカー、小売業はほぼすべて参加。	60組織 国内チョコレート市場の95%をカバー。	38組織 国内チョコレート市場の主要プレイヤーは、ほぼすべて参加。
運営方法	理事会に、各セクターより2名ずつ選出。投票権は平等。	理事会に、産業セクター2名、その他セクター1名ずつを選出。経済省も関与。	運営委員会に、各セクター1名ずつ選出。	運営委員会に、各セクター1名ずつ選出。年次総会で任命（任期は2年/4年）。
運営資金と財源（年間）	50万ユーロ（会員からの年会費）。企業セクターの会費は、年間売上額に応じた設定。	年会費（政府機関以外）と経済省拠出の800万スイスフランを含む、3500万スイスフラン。	200万ユーロの政府からの資金提供+官民から400万ユーロの投資	（調査中）
事務局	GIZ（政府関係機関）	経済省	IDH（政府関係機関）	IDH（政府関係機関）

欧州4カ国のプラットフォームが連携を開始

- 課題解決の効率化と効果を上げるために、ドイツ、スイス、ベルギー、オランダのプラットフォームが連携のためのMOUを締結（2021年1月署名）

https://www.idhsustainabletrade.com/uploaded/2020/09/MOU_cocoa-platforms_2020.06_Completed.pdf

- 5つの分野で連携していくための2022年のアジェンダ発表

<https://www.idhsustainabletrade.com/uploaded/2021/11/ISCO-Agenda-Overview-activities-2022.pdf>

生活所得 (Living Income)

森林保全

児童労働

トレーサビリティと透明性

モニタリングと評価

個別

全体



プラットフォーム連携のアジェンダ2022

分科会

Working groups
Provide expertise, validate task force outputs, and co-organize learning events. The participation in a working group requires a certain level of expertise in the specific subject.

トレーサビリティと透明性	生活所得	森林保全	児童労働	モニタリングと評価
<u>Traceability/ Transparency</u>	<u>Living Income*</u>	<u>Forests & Agroforestry</u>	<u>Child Labour</u>	<u>Monitoring & Evaluation</u>

作業部会

Task forces
Small groups (max. 8) of dedicated experts with high levels of expertise mandated by the working group to fulfill a specific and time-bound task.

Task forces are established based on the needs identified within the working group and will be communicated within the respective working group.

勉強会

Learning events
Events that foster cross platform understanding of the challenges and solutions to working group topics. All ISCO members can join the events.

To be confirmed	To be confirmed	Child labour event
-----------------	-----------------	--------------------

Contact persons

Please contact these people for more information on the working group, participation requests, and suggestions for agenda points.

<u>Beate Weiskopf</u> <u>Julia Jawtusich</u>	<u>Mark de Waard</u> <u>Marloes Humbeek</u>	<u>Charles Snoeck</u> <u>Marloes Humbeek</u>	<u>Christian Robin</u> <u>Sophie Tillmann</u>	<u>Beate Weiskopf</u> <u>Julia Jawtusich</u>
---	--	---	--	---

3回/年

<全体で話し合い> 30分

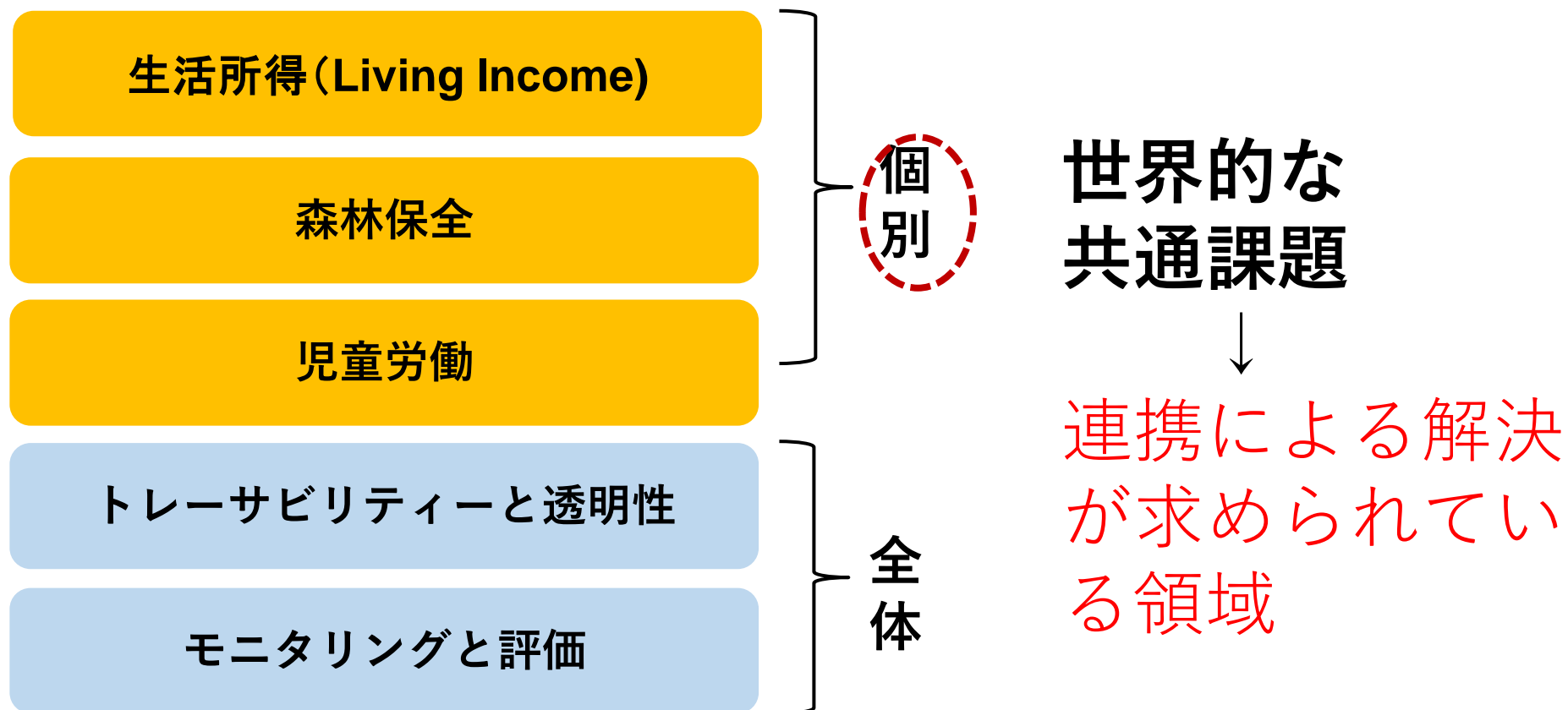
「プラットフォームの今後を考える」

3つの問い

1. 取り組むべきテーマは何か？
2. どんな目標を設定するのか？
3. 目標達成のために、どのように連携、役割分担できるのか？

1. 取り組むべきテーマは何か？

(参考) 欧州プラットフォームによる連携5分野



2. どのような目標を設定するのか？(1)

(参考)スイスの場合「持続可能なカカオの定義と原則」

持続可能なカカオの定義	持続可能なカカオのための原則
【社会】 カカオ農家とその家族の適切な生活環境の促進	1. カカオ農家とその家族の適正な生活環境の促進と生活所得への貢献（例：収入の多角化の促進を通じて） 2. 最悪の形態の児童労働の防止
【環境】 気候変動の緩和と適応の促進、生物多様性の保護	3. 森林破壊や保護地域からのカカオの調達の防止と森林再生の促進 4. 気候変動に適応した農業および農場での生物多様性の促進（例：農業生産システムの促進、土壌・水・病気の管理など）
【経済】 現在および将来世代のために、経済的に実行可能で透明性のあるカカオバリューチェーンを促進	5. 農場の生産性と収益性の向上 6. カカオのバリューチェーンにおける参加、パートナーシップ、透明性の促進

https://www.kakaoplattform.ch/fileadmin/redaktion/dokumente/MEL_Framework.pdf

2. どんな目標を設定するのか？(2)

(参考)フランスの場合「3つのコミットメント」

生活所得

① 遅くとも2030年までに、生産国と協力して、カカオ農家とその家族の所得を向上させ、適正な生活を実現する。

森林保全

② 遅くとも2025年までに、フランスのカカオ産業とそのパートナーが、2020年1月1日以降に森林伐採された地域からの輸入を停止し、森林劣化に対処し、残存する森林と環境価値の高い地域を保護するために、すべてのステークホルダーと協力する。

児童労働

③ 国連の持続可能な開発目標 (SDG) 8.7 (児童労働、強制労働、現代の奴隷制、人身売買の廃止) の実施の枠組みの中で、2025年までに、カカオ生産地域における強制労働および児童労働 (ILO条約で定義されている) と戦い、進捗を確保するために必要な措置を講じるとともに、子どもの権利と教育へのアクセスを促進する。カカオ産業における女性のエンパワーメントにも貢献する。

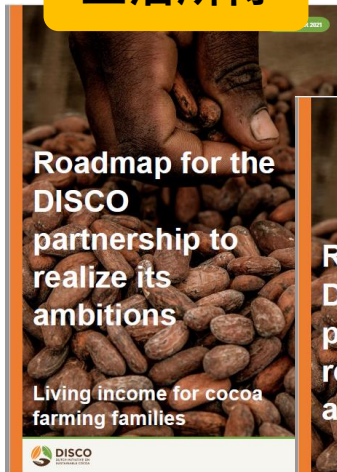
<https://www.cirad.fr/en/press-area/press-releases/2021/french-sustainable-cocoa-initiative>

3. どのように連携、役割分担できるのか？

(参考)オランダの場合

◆ 分野別の「ロードマップ」を策定

生活所得



森林保全



児童労働



具体的なアクションと、各アクターの役割を明示。

＜主なアクター＞

- カカオの貿易・加工業者
- チョコレート製造会社(大規模)とブランド
- チョコレート製造会社(小規模)
- 小売業者
- 市民社会組織、学術・研究機関、認証機関など
- 政府

<https://www.idhsustainabletrade.com/publication/dutch-initiative-on-sustainable-cocoa-disco-declaration/>

3. どのように連携、役割分担できるのか？

各プラットフォームの会員構成と意思決定にかかるバランス

	ドイツ	スイス	ベルギー	オランダ
会員構成 (セクターの内訳)	77組織 (政府機関2、カカオ商社・チョコレートメーカー50、小売業7、学術・研究機関1、CSO15、認証機関2)	70組織 (政府機関1、カカオ商社・チョコレートメーカー37、小売業7、学術・研究機関4、CSO・国際機関13、認証機関2、業界組織6)	60組織 (政府機関4、カカオ商社・チョコレートメーカー17、小売業5、学術・研究機関7、CSO6、労働組合5、投資機関5、認証機関4、その他2)	38組織 (政府機関3、カカオ商社・チョコレートメーカー15、小売業5、学術・研究機関4、CSO・国際機関9、認証機関2)
理事会、運営委員会の構成	理事会に、 各セクターより2名ずつ 選出。	理事会に、 企業・産業セクター2名、その他セクター1名ずつ を選出。 経済省も関与。	運営委員会に、 各セクター1名ずつ 選出。	運営委員会に、 各セクター1名ずつ 選出。

みなさんのご意見をお聞かせください！

たたき台としての案（議論を促進するために）

1、取り組む領域（テーマ）を絞り込む（プラットフォームとしての方針設定）

サステナビリティ課題に対する共通理解を深めるため、先行事例をより詳しく学ぶための勉強会を実施することも一案

2、取り組む領域（テーマ）ごとに目標を設定する

テーマ別のタスクフォースを設けて検討し、全体に持ち寄って最終決定するのも一案

3、プラットフォームとしての意思決定メカニズムを導入する

会員全員で協議を継続するのは困難。異なる立場のアクターの意見を集約し、合意形成するための仕組みが必要

4、チョコレート市場を形成する大小さまざまなプレイヤーの参加を確保する

主要なチョコレートメーカー、カカオ商社、小売業の巻き込みは必須。既存の業界組織との協力、連携が重要。

日本政府関係機関の関与、政府による支援体制（財政支援含む）も検討が必要（参加のインセンティブとしても）。

→「日本の産業界としてグローバルなプレゼンスと貢献を高めることが、日本企業の企業価値と競争力を高める」共通認識を持つ。

5、カカオ生産国の政府・関係者と連携する

カカオ生産国のニーズに寄り添いながら協働でインパクトを出していくことを前提とする。

テーマや目標についても、生産国関係者を含めた協議、合意形成を進めることが重要。